

市販版

国史教科書

中学校社会科用

NATIONAL HISTORY

第7版



『国史教科書第7版』（検定合格市販版）刊行に寄せて

文部科学省の教科書検定に最初に中学校の歴史教科書を申請してから、四回連続で不合格となり、その五年の間に初版から第5版までの『中学歴史文部科学省検定不合格教科書』を毎年発売してきた。しかし、令和五年度の教科書検定で第6版と第7版が、修正を加えたうえで合格となり、苦節六年の歳月を経て、ようやく中学校の歴史教科書として使用されることになった。そこで、学校での使用開始に先駆け、合格版（『国史教科書第7版』）を一般書籍として発行する次第である。教科書を作るために設立した零細の出版社が、ここまで継続してこられたのは、毎年発売する『不合格教科書』を買い求めてくださった読者の応援の賜物であり、この場を借りて御礼申し上げたい。

教科書検定は、文科省の事務官だけでなく、各分野の専門知識を備えた大勢の調査官により行われる。申請図書はこれまで数多の検定意見（欠陥箇所の指定）を受けてきたが、私たちは、従来の常識に沿って書き換えたり、削除したりするのではなく、言葉を補うことで「私たちの意図する記述を残す」という方針で取り組んだ。その結果、版を重ねるたびに分量が増え、ページ数が大幅に増加することになった。

なかには納得のいかない検定意見が付されることもあったが、「誤解するおそれのある表現」「理解し難い」という指摘の多くは、順当なものであった。私たちは試行錯誤を繰り返して、誤解されない文章、理解しやすい文章を書くことを目指してきた。その結果、検定を通じて、より良い教科書にたどり着いたのではないかと思う。

令和三年度の教科書検定で合格の感触をつかんだ私たちは、他社の中学歴史教科書と比較して、最もレベルが高い教科書を目指すことにした。そのため、偏差値の高い高校の入試問題を過去十年にわたって分析し、これらの問題を解くために必要な教科書はどのような内容であるべきかを検討し、修正を施した。それが今回合格した申請図書である。

中学の歴史学習や高校受験のみならず、教員が授業の参考とし、または、社会人が国史を学び直すのに役立てていただけたら幸いである。